

消費税10%撤回・5%に戻せ！ 会の役割ますます重要に

消費税10%への増税から約2カ月、客足が2割も減った商店街、廃業に追い込まれた店、食品や生活必需品の相次ぐ値上げ等など、目に見えて暮らしが大変になっています。今秋の台風・豪雨による被災者にもいっさい減免がなく、立ち直りの足かせにもなっています。一方、安倍政権による「桜を見る会」での税金の私物化があきらかになり、庶民の怒り沸騰。

消費税10%撤回・5%に戻せ！の運動を進める「会」の役割がますます重要になっています。



10%撤回・5%に戻せの運動を作りだそう 第26回総会 11月24日 富山の会

52人の参加で富山市内で開催。国民の暮らし・営業を守るたたかひの歴史と伝統を確信に、消費税廃止めざし10%撤回・5%に戻せの確かな力である「会」を網の目のように広げることを確認。全国の会の木口事務局長による「何が社会保障のための消費税か」との告発が大事。政治を変え、減税・廃止に踏み出そう」との講演も。



「消費税反対 吉川みなみの会」発足 10月 埼玉・吉川みなみの会

消費税反対 吉川みなみの会が発足し、10月、11月は毎週2回、武蔵野線吉川駅と吉川美南駅で宣伝・署名活動を行いました。11月13日の吉川美南駅の宣伝は3人が参加。会の発足は消費税が10%に引き上げられたことがきっかけでした。「消費税が上がってから活動してもしょうがない」と言われることもあるが、「このまま何もしなければ、もっと税率が引き上げられてしまう」と頑張っています。

10%撤回・5%への減税実現へ野党共闘を 第30回総会 11月16日 兵庫の会

33人の参加で神戸市内で開催。「免税業者の怒りを引出し、取引から排除させない運動を」「草の根の粘り強い運動が必要」「若い人に関心を持ってもらう宣伝の工夫も必要」などの運動交流の後、定例宣伝を強め、新署名の推進、パンフレットを活用した学習会、会づくり、会報読者・会員拡大などの運動方針を決めました。

5%にもどせの運動を強化しよう

第26回総会 11月24日 山口の会

40人の参加で山口市内で開催。全国の会の渡辺常任世話人の記念講演の後、宇部、山口、岩国、下関の地域の代表が、業者や市民に怒りが広がっていること、運動を県下全域に広げることやミニカフェなど学習を強めることの重要性が発言されました。



「安倍さん、早く辞めて！」

11月25日 和歌山の会

JR和歌山駅前前で12人が参加し、約30分で44人の署名が集まりました。「5%に戻せ！本当にそうや、良いことをしてくれてありがとう」「安倍さんは庶民のことは何も知らん、早く辞めてくれ」と駆け寄って署名してくれるなど、10%増税が重くのしかかり、怒りが広がっています。